

Excel 2010 Expert 内容評価基準

大項目	中項目	機能の例 ※各項目には以下の操作や機能を含みますが、これらに限定されるものではありません。	
ブックの共有と管理	ブックの設定、プロパティ、データオプションを適用する	詳細なプロパティの設定 ブックをテンプレートとして保存 XML データのインポート、エクスポート	
	ブックやワークシートに保護や共有のプロパティを適用する	現在のシートの保護 ブックの構成の保護 許可する操作の制限 ブックを開くときにパスワードを要求	
	共有ブックを管理する	ブックの結合 変更履歴オプションの設定	
	数式と関数の適用	数式を分析する	数式の参照元のトレース 参照先のトレース エラーのトレース 無効なデータの検出 無効な数式の検出 数式のエラーの修正
		数式オプションを操作する	反復計算のオプションの設定 ブックの自動計算の有効、無効
		データの集計作業を実行する	配列数式の使用 SUMIFS 関数の使用
数式に関数を適用する		関数のエラーの確認、修正 関数に配列を適用 統計関数の使用 日付関数の使用 時刻関数の使用 財務関数の使用 文字列操作関数の使用 キューブ関数の使用	
視覚的なデータの表示		高度なグラフの機能を適用する	近似曲線の使用 第2軸の使用 グラフのテンプレートの使用 スパークラインの使用
		データを分析する	自動分析の機能の使用 What-If 分析の実行
		ピボットテーブルを適用する、操作する	ピボットテーブルのデータの操作 スライサーを使用して、ピボットテーブルのデータをフィルターし複数に分割
		ピボットグラフを適用する、操作する	ピボットグラフの作成 ピボットグラフのデータの操作 ピボットグラフのデータの分析
		スライサーの使い方を示す	外部データ接続からデータセットの選択
マクロとフォームの操作		マクロを作成する、操作する	マクロの実行 ブックを開いたときにマクロを実行 ボタンをクリックしたときにマクロを実行 マクロの記録 コマンドボタンにマクロを割り当て ユーザー設定のマクロボタンをクイックアクセスツールバーに作成 マクロの編集
	フォームコントロールを挿入する、操作する	フォームコントロールの挿入 フォームのプロパティの設定	